

乾 章俊議員



● 温泉センター「水芭蕉」について  
● 福井国体の歓迎・装飾について

そのほかの質問  
・防犯について

一般質問

50年に一度の貴重な大会。市民が力をあわせ、

利用客が減少し経営状態が低迷している。この状態が続けば当施設の存続は困難になる。老朽化等が要因であるが、今後、存続するには大幅な改修、経営改善、場合によっては新設を含めた検討が必要。しかし、まずは今後の方向を左右するくみ上げる湯量がどんな状況なのか実態の把握が先決。

近隣自治体で類似入浴施設の建設が進むとともに民間のスーパージョウも増え、入浴施設としての魅力が相対的に低下していることは否めない。こうした状況で利用者が伸び悩んでいるのが現状。温泉センター「水芭蕉」の源泉調査報告書によると、現在の源泉近く、1400mの掘削で毎分80リットル、約45度の温泉が見込める。源泉の掘削に向けて国・県の交付金や補助事業などの活用について検討していく。

今年実施した源泉調査の結果はどつであつたか。また、結果によってどのような対応を考えているか。

市民の方々に花苗を育てて頂く予定。ディノフレンズ花作り部の方々が市内全小中学校、各地区区長会にもお願いし、ご理解を頂いている。育てて頂いた花苗をプラントに植え替え、各競技会場や宿泊施設、勝山インターや勝山駅など市内5か所のゲート部分に歓迎看板やのぼり旗などと共に配置する予定。

また、ソバの景観作物の耕作について、ご協力を頂ける農家の方々の思いが来訪者の方々に伝わるよう、のぼり旗等も併せて設置していきたい。

それぞれの立場で、心をこめた温かい歓迎の仕方で全国の選手・関係者をお迎えしたい。先日の全日本での山口茜選手の活躍により、特に彼女が出場する当市バドミントン会場はすいぶん盛り上がるものと思われる。会場への沿線に面する地区、宿泊や食堂、土産店等のサービス機関、企業、個人、各種団体など幅広い皆さんのご理解とご協力、ご参加をいただいて歓迎したい。歓迎・装飾の取り組みについて伺う。

土地を先に購入した後で家を建てる事例は特殊でないのに、この制度は「申請の前年度の4月1日以降に購入した土地」しか50万円が助成されないという問題があり、土地取得時期の条件を緩和すべきではないか。見解を伺う。

山田安信議員



● 住宅助成制度の見直しについて  
● 稚鮎放流事業補助金について

そのほかの質問  
・来年度予算案の編成方針について  
・国民健康保険税について  
・獣害対策について

一般質問

今後新たな補助メニューの創設について、福井県地域住宅協議会を通じて、要望していくとともに、

「勝山市住宅リフォーム促進事業補助金」は、その目的を一定程度達成したので事業を廃止し、定住化促進事業のためのリフォーム補助に切り替えた。

勝山市定住化促進事業では短期間で土地と住宅を取得することは経済的負担が大きいことを考慮して、補助額を加算している。しかし、土地の取得については、経済的負担が伴うことは同様であることから、取得時期の制限に関して、今後研究していく。

また、市民や市内業者から喜ばれていた一般住宅リフォーム助成金20万円が廃止されたが、新たな定住対策や地域経済対策として実施する考えはないか。

他省庁の補助メニューの活用についても研究する。

勝山市漁業協同組合への稚鮎放流事業補助金は、要綱で放流量の15%と規定しているのに、市長は要綱を逸脱して17%に増額する予算案を提出したが、誰が要望し、漁協の誰と協議して決めたのか。

平成28年度から勝山市漁業協同組合より補助金増額の要望を頂いていた。今年度も、放流量の増加、稚鮎単価の高騰などのため、補助金増額の要望があつた。庁内での検討を重ねる中で補助率のアップを決定した。

さらに9月議会では要綱を逸脱した補助金支給はしないと決めたのに、11月の全員協議会で、未支給の補助として支給したと提案したが、経過の説明を求めた。